

超音波スケーラー ハンドピース WH-3H 取扱説明書

1 製品紹介

1.1 はじめに

桂林ウッドペッカー医療器械株式会社は、歯科用機器の研究・開発、製造を行う専門メーカーであり、健全な品質保証体制を備えています。

WOODPECKER 社には、「WOODPECKER」と「DTE」の2つのブランドがあります。製品には、超音波スケーラー、光重合器、アベックスロケータ、超音波手術装置などがあります。

1.2 装置の説明

超音波スケーラー HW-3H のハンドピースは、WOODPECKER シリーズのスケーラー用アクセサリーであり、当社の WOODPECKER ブランドの超音波スケーラーと組み合わせて使用します。これは超音波スケーラーのハンドヘルド型エネルギー変換部であり、ピエゾセラミックスを用いて電気エネルギーを機械エネルギーに変換し、歯石を除去します。

1.3 型番および寸法

1.3.1 型番：HW-3H

1.3.2 外形寸法：117 mm (長さ) 18 mm (直径) 47 g (重量)

1.4 製品の性能と構造超音波スケーラーHW-3Hのハンドピースは、カバーと超音波トランスデューサーで構成されています。

1.5 適用範囲

1.5.1 超音波スケーラー HW-3H のハンドピースは、WOODPECKER 社のスケーラー UDS-K、UDS-N2 と組み合わせ、歯石の除去に使用されます。

1.5.2 超音波スケーラー HW-3H のハンドピースは、WOODPECKER 社のスケーラー UDS-L、UDS-M、UDS-N3、UDS-A、UDS-P、UDS-E

と互換性がある場合に、歯石の除去および根管の洗浄に使用されます。

1.6 禁忌

1.6.1 血友病の患者は、本機器を使用することはできません。

1.6.2 心臓ペースメーカーを装着している患者は、本機器を使用することはできません。

1.6.3 心臓ペースメーカーを装着している医師は、本機器を使用してはなりません。

1.6.4 心臓病の患者、妊婦、および小児は、本機器の使用に注意が必要です。

1.7 本機器の分類

1.7.1 動作モード：連続運転

1.7.2 防水保護等級（ペダル使用時）：IPX1

1.7.3 空気、酸素、または亜酸化窒素と混合した可燃性麻酔ガス存在下での使用の安全性：本機器は、空気、酸素、または亜酸化窒素と混合した可燃性麻酔ガス存在下での使用には適していません。

1.8 主な技術仕様

1.8.1 電源入力：～190V～230V

1.8.2 出力プライマリチップの振動振幅：1μm～100μm

1.8.3 出力チップの振動周波数：28kHz±3kHz

1.8.4 出力振幅：0.1N～2N

1.8.5 チップの出力電力：3W ～ 20W

1.8.6 水圧：0.01MPa ～ 0.5MPa

1.9 動作条件

1.9.1 周囲温度：+5°C

～+40°C

1.9.2 相対湿度：30% ～ 75%

1.9.3 大気圧：70kPa ～ 106kPa

2 製品の設置

2.1 ハンドピースの取り付け

2.1.1 梱包箱を開封し、梱包明細書に従ってすべての部品および付属品が揃っていることを確認してください。必要に応じて販売店にご連絡ください。

2.1.2 ハンドピースを取り付ける前に、着脱式ハンドピースをケーブルのコネクタに接続する際は、乾燥した状態を保ってください。

2.1.3 プラグの下部ジャックが正しく嵌合していることを確認し、ハンドピースをケーブルに確実に固定してください。

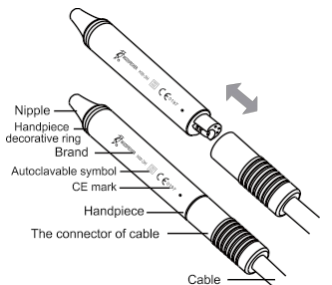


図1

2.2 チップの取り付け

2.2.1 トルクレンチを使用してチップをハンドピースに固定してください。

2.2.2 「WOODPECKER」ブランドのスケーリングチップをご使用ください。

2.2.3 チップとエンドチャックの取り付け方向は、図2に示す通りです。

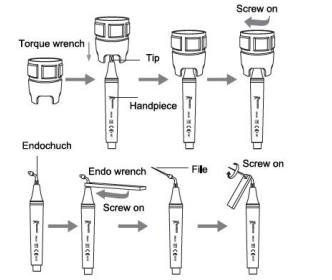


図2

注意事項：着脱式ハンドピースはハイテク機器ですので、慎重にご使用ください。チップを締め付ける際は過度なトルクをかけず、トルクレンチを使用して締め付けてください。誤ってフットスイッチに触れて振動が発生するのを防ぐため、各施術終了後はスケーリングチップを必ず外してください。

3 製品の機能と操作

3.1 スケーリング機能

3.1.1 ハンドピースをスケーラー本体のケーブルコネクタに正しく接続し、水量と振動強度を適切なレベルに調整してください。

3.1.2 ハンドピースは、まるでペンを握るように自然に扱うことができます。

3.1.3 必要に応じて適切なスケーリングチップを選択し、トルクレンチを使用してハンドピースにしっかりとねじ込んでください。

3.1.4 臨床治療中は、チップの先端が歯に垂直に触れないようにしてください。

3.1.5 歯を傷つけたり、チップを破損させたりしないよう、チップを歯の表面に過度に押し付けないようにしてください。

3.1.6 操作終了後は、ハンドピースとスケーリングチップを洗浄するために、給水状態で30秒間機器を稼働させておいてください。

3.2 エンド機能

3.2.1 使用手順

- エンドチャックを使用して、エンドチャックをハンドピースに取り付けます。
- エンドチャックのネジキャップを緩めます。
- 超音波ファイルエンドチャックの前面にある穴に挿入します。
- エンドレンチを使ってネジキャップを締め、超音波ファイルをしっかりと固定します。
- オプションキーを押し、エンド根管洗浄機能に切り替えます。
- オプションキーを押し、水量と振動強度を適切なレベルに設定します。
- 超音波ファイルを患者の根管にゆくりと挿入し、フットペダルを踏んで、根管のクリーニングを行います。治療中は、必要に応じて徐々に出力を上げていきます。

3.2.2 注意事項

- エンドチャックを取り付ける際は、必ずネジで固定してください。
- エンドチャック上のネジは、しっかりと締め付けてください。
- 根管内に超音波ファイルが入っているときは、強く押し込みすぎないでください。
- 超音波ファイルが根管に入るまで、フットペダルを踏まないでください。
- 出力範囲は1段階から5段階までです。
- 操作後は、エンドチャックとハンドピースを滅菌してください。

3.3 着脱式ハンドピースの主要部品に関する取扱説明

3.3.1 ニップル：ニップルは取り外し可能で、洗浄が簡単です。

3.3.2 ハンドピース：ハンドピース全体の主要部分であり、高温高圧下でオートクレープ滅菌が可能です。

Oリングには頻繁に歯科用潤滑剤を塗布してください。滅菌処理や繰り返し使用の抜き差しにより、Oリングの耐用年数が短くなります。破損したり、著しく摩耗したりした場合は、新しいものと交換してください。

4 注意事項

4.1 ハンドピースをぶついたり、こすったりしないでください。

4.2 フットペダルを踏んでいる間は、スケーリングチップやエンドチャックを締めたり緩めたりしないでください。

4.3 ハンドピース、スケーリングチップ、トルクレンチ、エンドレンチ、エンドチャックは、治療のために滅菌する必要があります。

4.4 一部のメーカーが製造しているスケーリングチップの内部ネジ山は、粗く、錆びており、磨れている場合があります。これにより、ハンドピースの外部ネジ山が修復不可能なほど損傷する恐れがあります。「WOODPECKER」ブランドのスケーリングチップをご使用ください。

4.5 当社は、以下の条件が満たされる場合にのみ、安全に関する責任を負います：保守、修理、および改造が、製造元または認定販売店によって行われていること。

故障	可能原因	対策
ハンドピースが動作しない	チップが壊れている	締め直してください
	ハンドピースに不具合がある	ハンドピースを取り外し、修理のために送還してください
	ケーブルに不具合がある	弊社または販売代理店までご連絡ください
	ケーブルと基盤間の接続プラグが壊れています	弊社または販売代理店までご連絡ください
通電してもスプレーが出ない	給水制御スイッチが動かし、オンになっていない	給水スイッチをオンにしてください
	水圧がない、または水圧が低い	水圧を確認してください
通電しても水が出ない	給水制御スイッチが動かし、オンになっていない	給水スイッチをオンにしてください
	電磁干渉が侵入している	弊社または販売代理店までご連絡ください
	弊社または販売代理店までご連絡ください	3ウェイシリリングを使用して給水害を洗浄してください
	チップがハンドピースにしっかりとねじ込まれていません	トルクレンチを使用してチップをしっかりと締め付けてください
振動が弱い	振動によってチップが壊れてしまった	チップをしっかりと締め付ける
	ハンドピースとケーブルの接続部が濡れている	特にハンドピースとコネクタの間の水分を拭き取ってください
	チップが摩耗しているか、変形している	別のチップに交換してください
ハンドピースが発熱	水量調節スイッチの設定が低すぎます	水量調節スイッチを高い設定に切り替えてください
ハンドピースとケーブルの接続部から水漏れする	防水用の「Oリング」が破損しています	新しい「Oリング」に交換してください

6 洗浄および滅菌

6.1 使用後は、ハンドピースを洗浄・滅菌してください。

6.2 オートクレープ処理の前に純水でハンドピースを洗浄し、三方シリリングで乾燥させてください。

6.3 オートクレープ処理は、高温、高圧、以下の条件で行ってください：

134°C、2.0bar～2.3bar (0.20MPa～0.23MPa)、4分；

6.4 滅菌前に、ハンドピースを滅菌ガーゼまたは滅菌バックで包んでください。火傷を防ぐため、ハンドピースが自然に冷めてから再使用してください。

6.5 注意

6.5.1 滅菌前に、3ウェイシリリングを使用してハンドピース内の洗浄液を完全に排出してください。

6.5.2 スケーリングチップがハンドピースから確実に外されていることを確認してください。スケーリングチップは他の部品と一緒に滅菌することはできません。

6.5.3 治療中や滅菌中にハンドピースの外側に損傷がないかご確認ください。

6.5.4 ハンドピースの表面に保護油を塗らないでください。

6.5.5 ハンドピースの先端には、2つの防水用Oリングがあります。滅菌や繰り返しの抜き差しにより耐用年数が短くなるため、歯科用潤滑剤をこまめに塗布してください。破損や過度な摩耗が見られた場合は、新しいものと交換してください。

6.6 以下の滅菌方法は禁止されています：

6.6.1 ハンドピースを液体に入れて煮沸すること。

6.6.2 ヨウ素、アルコール、グルタルアルデヒドなどの消毒液にハンドピースを浸すこと。

6.6.3 ハンドピースをオープンや電子レンジに入れて加熱すること。

6.6.4 ハンドピースを超音波洗浄機に入れて洗浄すること。

7 保管、保守、および輸送

7.1 保管、メンテナンス

7.1.1 機器は慎重かつ丁寧に取り扱いってください。振動から遠ざけ、涼しく乾燥した換気の良い場所に設置または保管してください。

7.1.2 本機を以下のものと一緒に保管しないでください

可燃性、有毒、腐食性、または爆発性の物質。

7.1.3 本機器は、相対湿度が 10%

～93%、大気圧が70kPa～106kPa、温度が-20°C～+55°Cの範囲内である部屋に保管してください。

7.2 輸送

7.2.1 輸送中は、過度な衝撃や揺れを避けるようにしてください。慎重かつ軽く置き、逆さまにしないでください

7.2.2 輸送中は、危険物と一緒に積載しないでください

7.2.3 輸送中は、直射日光や雨・雪による濡れを避けてください。

8 環境保護

当社の製品には有害な要素は一切ありません。現地の法律に基づいて取り扱ってください。

9 アフターサービス

保証書に基づき、本機器に対して1年間の無料修理を提供いたします。本機器の修理は、当社の専門技術者が実施する必要があります。専門家以外の方による取り返しのつかない損傷については、当社は一切の責任を負いかねます。

10 記号の説明



IPX1 防滴仕様



製造年月日

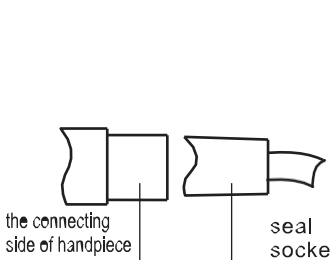


11. 声明

製品の変更に関するすべての権利は、製造元に帰属し、事前の通知なしに行われる場合があります。写真はあくまで参考用です。最終的な解釈権は、GUILIN WOODPECKER MEDICAL INSTRUMENT CO., LTD.に帰属します。工業デザイン、内部構造などについては、WOODPECKERが複数の特許の特許を有しており、模倣品や偽造品については法的責任を問われることがあります。



ハンドピースを取り付ける際は、毎回、ハンドピースとシリソケットの接続部が完全に乾燥していることを確認してください。



連絡先
kadashika.jp@gmail.com
URL: https://www.kadashika.jp/